

電波時計 取扱説明書

(照明付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

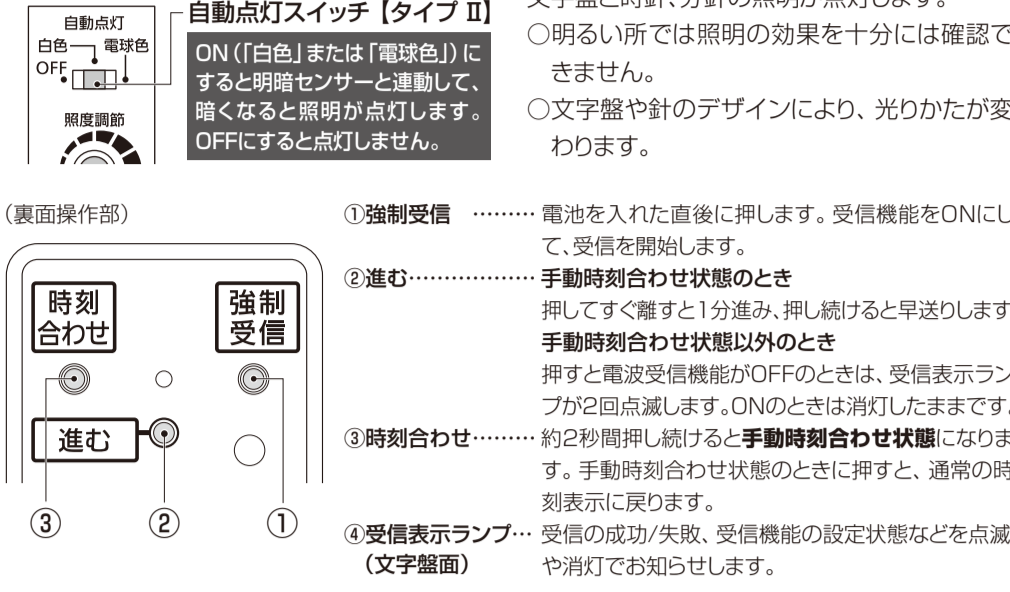
株式会社 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北栄町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

電池は付属していません。単3形アルカリ乾電池を6個ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



(正面) (裏面)

(側面操作部)
※商品により自動点灯のタイプが異なります。

自動点灯スイッチ【タイプI】
ONにするとも暗センサーと連動して、暗になると照明が点灯します。OFFにするとも暗センサーと連動して、暗になると照明が点灯しません。

自動点灯スイッチ【タイプII】
ON(「白色」または「電球色」)にするとも暗センサーと連動して、暗になると照明が点灯します。OFFにするとも暗センサーと連動して、暗になると照明が点灯しません。

(裏面操作部)
①強制受信 …… 電池を入れた直後に押します。受信機能をONにして、受信を開始します。
②進む …… 時計時刻合わせ状態のとき押し続けて進むとき、押し続けると早送りします。手動時刻合わせ状態以外の場合、押し続けると電波受信機能がOFFのときは、受表示ランプが2秒間点灯します。ONのときは消灯したままです。手動時刻合わせ状態のときに押し続けると、通常の時刻表示に戻ります。
③時刻合わせ …… 約2秒間押し続けると手動時刻合わせ状態になり、通常の時刻表示に戻ります。受信の成功/失敗、受信機能の設定状態などを点滅や消灯でお知らせします。

1. ご使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、「**手動での時刻合わせ**」を参照してください。

◎**窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。**

① 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を6個入れる

⚠ **注意** 電池の⊕⊖を逆にすると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

② 強制受信ボタンを押す(標準電波を受信の流れとサーチ機能の使いかた)参照

強制受信ボタンを押すと、時刻表示が12時位置に移動し、受信が完了するまで停止します。

※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。

※早送りの途中で針が一時的に停止することがあります。

※受信中はボタン操作をしないでください。

③ (時計の掛けかた)に従い時計を確実に掛ける

④ 受信開始後、16分経過してから受表示ランプで結果を確認する

受信が終わると針が動き出します。

2秒に1回点滅：受信成功(正しい時刻を表示)

消灯：受信失敗(不正確な時刻) → (標準電波を受信できない場合)へ

▶ 2. 照明の使いかたにしたがって照明機能を設定してください。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

※受表示ランプは、25時間以内の受信結果を表示します。

標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた

(1) (2) (3) (受信局を表示) (4) (電波の状態を表示) (5) (受信結果の確認)

強制受信ボタンを押すと、時刻表示が12時位置に移動し、受信が完了するまで停止します。

4回点滅 福島局 (40kHz)

6回点滅 九州局 (60kHz)

◎点灯 良好
⇒ 受信できる可能性大

○消灯 受信できない
⇒ 場所を移す

◎点灯 消灯を繰り返す
⇒ 電波が不安定、失敗の可能性大

◎ 2秒に1回点滅 受信成功

○ 消灯 受信失敗

受信は最長で約16分間行います

電波サーチ機能の使いかた

◎窓際やベランダで(4)まで行い、受表示ランプが点灯しているときを確認します。

受表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めてお試しください。

◎時計を掛けたい所に移動して、受信状態を受表示ランプで見ます。

消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が悪くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える・受信をやり直す
電波の受信しやすい窓や直射説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面に電波の送信所に向けて、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ …… 受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

操作 ※通常の針の動きのときに操作してください。

① 時刻合わせを2秒間押し続けて手動時刻合わせ状態にする

手動時刻合わせ状態になると、分針が1〜2目盛動いて停止し、秒針は12時位置まで移動して停止します。この状態になってから時刻を合わせます。

② 進むを押して時刻を合わせる

進むを押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。

③ 手動時刻合わせを終わるときは時刻合わせを押す

※4分間ボタン操作をしないと通常の時刻表示になります。手動時刻合わせ状態の時刻から時を刻み始めます。

※強制受信ボタンを押すと手動時刻合わせを中止して受信を開始します。

※手動で時刻を合わせても、電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合は意図的に時間をずらすお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

操作 ※通常の針の動きのときに操作してください。

時刻合わせと進むの2つのボタンを同時に5秒間押し続けると電波受信機能のONとOFFが切り替わります。

電波受信機能が切り替わると、受表示ランプの点滅回数でお知らせします。

ON状態になったときは、5回 OFF状態になったときは、2回

OFFにしたときは、必要に応じて手動で時刻を合わせる必要があります。

●電波受信機能の状態を確認するときは、進むを押してください。受表示ランプが2回点滅したときはOFFになっています。ONのときは消灯したままです。

2. 照明の使いかた …… 暗になると照明が点灯する

自動点灯スイッチをONにするとも暗センサーに連動して、暗になると文字盤や針の照明が点灯します。

※電波を受信しているときは照明は消灯します。これは、電波を受信しやすくするためのです。

※商品により自動点灯のタイプが異なります。(各部の名称と役割)の側面操作部の項目をご確認ください。

明るさの調節

自動点灯スイッチをONにして、暗い室内で照度つまみを回して明るさを調節してください。

※暗さに対しての目の慣れ具合や室内の明るさにより、照明の明るさの感じかたが変わります。

照明をためず(照明モニター)

自動点灯スイッチをONにしてください。照明モニターボタンを押している間、照明が点灯します。明るさは照度つまみの位置に関係なく明るく点灯します。照明モニターボタンを押すと受信中も照明が点灯します。

時計の掛けかた

⚠ **注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

◎掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ等)がしっかり掛かっていることを確認してください。

◎垂直に掛けてください。傾くと掛け外れおそれがあります。

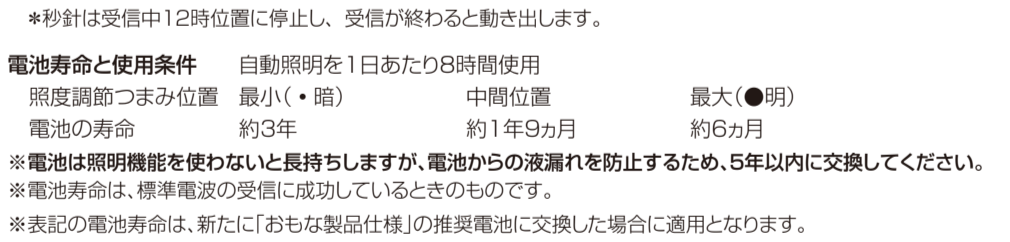
◎市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部に設置するものを選んでください。

◎ドアを開閉するときの振動が伝わる壁に設置しないでください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。



石膏ボードの壁面の場合

●付属の取付金具を使用できる場所は、石膏ボードの壁面です。

●取付金具は下図のとおり、付属のくさ4本でしっかりと固定してください。

取り付けかた 取付金具 タイプA

金具を水平にして①②の順序でくさ4本を押し込む。

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

石膏ボードの壁面

良い例 引っかかっている

悪い例 引っかかっていない

壁掛け部

取付金具 タイプB

くさ4本を押し込む

取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

壁掛け部

◎壁の材質、取り付け方法を確認の上でご利用ください。

◎付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。

◎取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。

◎くさは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。

◎取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

●コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質、構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご利用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

明暗センサーのはたらき …… 暗になると秒針停止、自動照明

明暗センサーが暗いと判別した場合、受表示ランプが消灯し、秒針を12時位置で停止させます。

また自動点灯スイッチがONのときは照明が点灯します。

昼間や照明器具による照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが動きます。

◎十分に明るい所で秒針が常時12時位置に停止するときは、裏面の「電池の交換時期お知らせ機能について」をお読みください。

電池の交換時期お知らせ機能について

電池に交換時期になると、秒針が12時位置に常時停止します。また、電波の受信と照明機能が停止します。このような状態になったときは、すべての電池を交換してください。

※秒針と分針はこのような状態になってからおよそ1ヵ月前後動きます。

※電波を受信しているときや手動で時刻を合わせているときは、明るい所でも秒針が停止します。

⚠ **注意** 電池が液漏れを起こすと時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

●時計が動いている時も照明の使いかたに応じて定期的に交換する。

●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混在して使用しない。

●電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れない。

推奨される電池について

◎電池に1月〜2月で表示されている「使用推奨期限」が電池交換日より4年以上先のもの

例) 2020年2月に表示されている「2024」より先の「使用推奨期限」表示がある電池

◎同一メーカー、同一種類、同一「使用推奨期限」のもの

◎未使用の単3形アルカリ乾電池

「使用推奨期限」は、JIS規格に定められた性能を保證できる保管期限のことです。使用推奨期限を過ぎた電池も使用できますが、本来の性能を発揮することができません。

電池は未使用であっても時間とともに徐々に性能が落ちていくためです(自然劣化)。

電池の種類について

●マンガン乾電池はアルカリ乾電池に比べて電池寿命が短く乾電池です。

●一般に乾電池の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には向きません。

(例) Panasonic EVOLTA (Eボルタ)乾電池 ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水ですすめた中性洗剤や石けん水で、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からふきしてください。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●静電気がよどみ、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的な汚れを落としてください。

電池・時計の廃棄

●お住まいの自治体の指定に従ってください。

●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度	秒針±1秒	時計/分針 目盛りに対して±3度
	標準電波を受信しないとき	平均月差±20秒(温度が5〜35℃のときのクォーツ精度)	
使用温度範囲	−10℃〜50℃ ※結露しないこと		
推奨電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V	6個	
電池の寿命	下記「電池寿命と使用条件」参照		
電池の交換時期	交換時期になると秒針が常時12時位置に停止		
お知らせ機能			
標準電波	標準電波を受信して時刻を修正	照明機能	明暗センサーと連動して暗いところで照明が点灯
受信局	福島局/九州局 自動選択	明るさ調節	ロータリー 無段階調節
受信回数	最少1回/日、最多6回/日	暗所秒針停止	明暗センサーと連動して、暗くなると秒針を12時位置に停止
サーチ機能	ボタン操作でON/OFF切り替え	防滴防塵機能	なし
手動時刻合わせ	ボタン操作		

自動受信開始時刻
受信状態により、受信回数は変化します。
2時15分59秒、3時15分59秒、4時15分59秒、12時15分59秒、13時15分59秒、14時15分59秒
※秒針は受信中12時位置に停止し、受信が終わると動き出します。

電池寿命と使用条件
自動照明を1日あたり8時間使用
照度調節つまみ位置 最小(暗) 中間位置 最大(●明)
電池の寿命 約1年9ヵ月

◎電池は照明機能を使わないと長持ちしますが、電池からの液漏れを防止するため、6ヵ月以内に交換してください。

◎電池の寿命は、標準電波の受信に成功しているときのものです。

※表記の電池寿命は、新たにおもな製品仕様の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、取付金具 1個、くさ 4本、保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ◎は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

●誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万が一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

●電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、電池について次のことを守る
●ショートをしない。 ●充電しない。
●加熱しない。 ●火の中に入れない。

●梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

●電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない
●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流す
●服や皮膚の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

●下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
●直射日光が当たる所。
●暖房機器からの風が当たる所。
●温度が−10℃以下または+50℃以上の所。
●湿度のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気が発生させる機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プール、温泉場などガスの発生する所。
●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電波時計について

電波時計とは
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局」おたかどや山標準電波送信所と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。

電波の受信範囲について
送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。http://jiij.nict.go.jp

※アドレスは変更になる場合があります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波を受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご利用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など
●電波障害の起きやすい所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●地下、ビルの中、ビルの谷間
●高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について
電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート
https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示されている製品番号(型番)をご確認ください。
例) 4MY○○○、4MYA○○○、8MY○○○、8MYA○○○

お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00〜17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対しては当方責任を負いかねますのでご了承ください。